

平成27年6月8日

大分県教育委員会
教育長 工藤 利明 殿

大分県スポーツ推進審議会
会長 谷口 勇



県立屋内スポーツ施設の建設に関する意見について

平成27年6月4日付け教委体第978号で諮問されたことについて、大分県スポーツ推進審議会において審議した結果、答申に先立ち、以下のとおり意見を提出します。

なお、今後の県立総合体育館のあり方については、県民の利用状況や新施設の機能などを踏まえ、引き続き審議することを申し添えます。

(意見)

県立総合体育館は築後36年が経過し老朽化が進み、武道の大規模大会が開催できないなど中核スポーツ施設としての機能不足が深刻化している。

こうした中、県民からは、武道の中核となる施設の整備を求める多くの意見が寄せられるとともに、スポーツを通じた県民の生きがいや健康づくり、地域活性化などに関する多くの要望が出されている状況である。

こうした意見や要望に対応するため、武道競技を中心としながらも多目的に県民が幅広く利用できる新たな県立屋内スポーツ施設の整備が必要である。

また、整備にあたっては、本県での開催が予定されているラグビーワールドカップ2019での関連施設や、東京オリンピック・パラリンピック出場選手のトレーニング拠点としても活用できるよう早期に建設することが望ましいと考える。